

ふかがわ

市議会 だより

第2回定例会

- ◆こんなことを審議し、決めました
可決した条例、補正予算、意見書など ……2～3P
- ◆一般質問 ……4～13P
- ◆広報編集委員を選任 ……13P
- ◆全国市議会議長会表彰 ……14P

No.236 2019.9

令和元年9月5日発行
発行 深川市議会 編集 広報編集委員会

令和元年第2回定例会(7月4日～12日)開催
議長を除く全13人の議員が一般質問を実施!!





こんなことを
審議し、決めました

条 例	議員発議	補正予算※	意見書	付議事件※
3件	1件	4件	6件	3件

Pick Up

委員会設置の決議※

庁舎整備特別委員会・議会改革特別委員会を設置

庁舎整備特別委員会

- 委員長 太田 幸一
- 副委員長 北村 薫
- 委員
辻本 智 田中 昌幸
田畑 陽美 宮澤 孝司



現在の深川市庁舎

深川市庁舎は、昭和41年の建設から50年以上が経過し、「施設や設備の老朽化」「耐震性の不足」「バリアフリー性能等の不足」など様々な課題を抱えており、今後、防災拠点としての機能を果たすためにも、庁舎整備のあり方に関する検討が重要であると認識しています。

市においては「深川市庁舎整備検討会議」を設置するなどして、庁舎整備に関する基本計画の策定に向けた検討に鋭意取り組んでいることから、議会においても特別委員会を設置し、十分に、調査・研究を行おうとするものです。

今後は、基本計画の策定に向けた庁舎整備の方向性等について調査するとともに、先進事例の視察や、議会機能の検討などを行うこととしています。

議会改革特別委員会

- 委員長 小田 雅一
- 副委員長 宮澤 孝司
- 委員
近沢 弘幸 大前 昭代
松本 雅祐 佐々木一夫



昨年の意見交換会の様子

深川市議会では、さまざまな視点から議会改革に向けた検討項目の調査や取り組みを行ってきましたが、今後も継続して議会改革に取り組んでいくことが重要であることから、これまでの議論を継承するとともに、新たな検討項目も加えながら、議会改革に関する調査を行うため、特別委員会を設置しました。

今後は、議会報告会・意見交換会のあり方や実施方法について協議し、さらなる議会情報発信の充実に努めるとともに、議会基本条例等の必要性の検討を行うこととしています。

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるため提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、議員発議、補正予算、意見書以外のものを付議事件としています。
※決議 市議会としての意思を決定し、それを対外的に表明するものです。

選挙管理委員及び同補充員の選挙

定例会初日の7月4日に、選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙が行われ、議長の指名推選により次のとおり決定しました。

- 選挙管理委員
梶川 寛さん 會見 美紀さん
土井 洋次さん 高木原めぐみさん
- 選挙管理委員補充員
田中 春美さん 青木 裕幸さん
星野みどりさん 川合 正春さん

【条例等】

消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例 賛成多数

令和元年10月1日から消費税及び地方消費税を合わせた税率を現行の8%から10%に引き上げることに伴い、本市の条例で定める各種使用料等についても消費税及び地方消費税の適正な転嫁を図る必要があることから、関係する33の条例を一括して改正するものです。

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 全会一致

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の公布により、被災者の生活再建がより進めやすくなるよう、災害援護資金の利率を市町村が定められるとともに、その際の保証人の要否についても市町村の判断に委ねられたことから、関連条項について改正を行うものです。

その他原案可決議案 全会一致

■深川市地域振興審議会条例を廃止する条例
■深川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【補正予算】

全会一致

- 令和元年度深川市一般会計補正予算（第2号）
- 令和元年度深川市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和元年度深川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和元年度深川市病院事業会計補正予算（第1号）

【意見書】 内閣総理大臣などに送付しました 全会一致

- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
- 「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
- 2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書
- 2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 放課後児童クラブ（学童クラブ）の放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書
- （種苗法改訂検討）自家採種原則禁止方針に反対する意見書

賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）														議決結果 ▼
		佐々木一夫	松本雅祐	山本時雄	北村薫	大前昭代	田畑陽美	太田幸一	宮澤孝司	辻本智	近沢弘幸	小田雅一	鶴岡恵司	田中昌幸	北名照美	
第2回定例会	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—	○	●	可決

※賛成＝○、反対＝●、除＝除斥（採決に加わることができない）、鶴岡恵司議長は採決に加わりません

Q 深川市地域公共交通網形成計画は、平成28年度から令和2年度までの計画期間となっているが、人口減少や高齢化が進む中、現段階での計画の達成状況と、次期計画の取り組みについて伺う。

A 本計画において、公共交通空白地域における移動手段の確保に向けた



たばたはるみ 議員
(民主クラブ)

検討は、やや遅れている状況にあります。引き続き、最終計画年度まで目標達成に向けて取り組んでいきます。

現計画の目標達成に向けた施策や、課題解決に向けた対策を優先的に進めているため、次期計画のスケジュールなどは現在ありませんが、本計画は、

Q 第一期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する上で、市民から

深川市第二期創生総合戦略について

A 現在の総合戦略を策定する際は、住民代表をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関などの代表者で構成する「深川市まち・ひと・し

深川市地域公共交通網形成計画：市HP



深川市地域公共交通網形成計画

ご創生総合戦略推進協議会」を設置し、多くの意見をいただくとともに、ホームページ等を通じて市民の方々からもアイデアの募集を行ってまいります。

次期総合戦略の策定においても、同様にアイデア等の募集を行っていき

Q 市内路線バス循環線の実証実験が行われたが、この間の利用者数と実証実験で見えてきた成果や課題について伺う。また、循環線が市道10号線で迂回しているが、市道9号線まで延伸できないか伺う。

A 平成30年度の利用者数は17,621人となっており、高齢者バス利用

料金助成事業の登録者数も増え、循環線の認知度や利便性が向上したと考えますが、実証実験における運行委託料が高額になったことから、運行経費は国の「地域公共交通確保維持改善事業」補助金の申請手続きを進めています。

コース延伸については、

Q 地元農畜産物の付加価値を高めることができる企業誘致は、地域経済の振興につながることも、

企業誘致での雇用確保の現状を問う

A 製造業に該当しない業種は、企業立地優遇制度の適用外となるほか、工場新設時の補助を一律の支援内容としていること、また、平成28年度から過疎債ソフト事業の対

象外となり、費用対効果の面での検証が必要となってきました。

このことから、本年3月に企業立地優遇制度の見直しを行い、雇用創出を促進するスタンスを明確にしたところです。今後は、本制度を有効に活用しながら、企業誘致につなげたいと考えています。



おだ まさいち 議員
(公政クラブ)

路線バス循環線の充実を 全体の見直しの中で検討

企業立地のご案内：市HP



市内路線バス循環線

質問した事項

13人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表でご覧いただけます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問通告表
(質問項目の確認が可能)



- 小田 雅一 議員…04
 - ・路線バス循環線の充実を
 - ・企業誘致での雇用確保の現状を問う
- 田畑 陽美 議員…05
 - ・公共交通網の整備について
 - ・深川市第二期創生総合戦略について
- 大前 昭代 議員…06
 - ・低所得世帯への支援強化を
 - ・やさしく、わかりやすい窓口設置を
- 太田 幸一 議員…06
 - ・全道身障福祉大会深川開催
 - ・『庁舎整備』に関して問題あり
- 松本 雅祐 議員…07
 - ・通学カバンの軽量化対策は
 - ・子育て世帯の負担軽減策について
- 北村 薫 議員…08
 - ・市立病院に常勤医師確保を
 - ・市道の整備計画について伺う
- 田中 昌幸 議員…08
 - ・市庁舎議論に若い方の声を
 - ・公営住宅の活用に向け制度見直しを
- 宮澤 孝司 議員…09
 - ・新ホテルの対応策について
 - ・積極的な外国人労働者の受け入れを
- 山本 時雄 議員…10
 - ・音江、広里地域の振興は
 - ・深川市の水を全国に届けては
- 北名 照美 議員…10
 - ・高齢者バス券の地域購入を
 - ・車椅子使用者に冷たい市庁舎改善を
- 佐々木一夫 議員…11
 - ・道の駅テナント募集問題
 - ・スマート農業の不採択について
- 辻本 智 議員…12
 - ・高校生の通学費助成が必要
 - ・新設保育所の準備は保護者参加型で
- 近沢 弘幸 議員…12
 - ・道の駅身障者トイレ改修を
 - ・麦・大豆調整施設の稼働状況を伺う



おおまえ あきよ 議員
(民主クラブ)

低所得世帯への支援強化を 各種制度の情報提供を継続

Q 非正規雇用者・低賃金労働者が増加しており、この中には多くのひとり親世帯も含まれると思われる。さまざまな貸付や助成制度もあるが、今後の支援体制の考え方及び取り組みについて伺う。

A 季節労働者の通年雇用化を目指し、「深川地域通年雇用促進支援協議

会」において、免許取得経費の一部助成のほか、市の事業として「若年者等雇用拡大奨励金事業」や、国のさまざまな雇用関係助成金の情報提供を行っており、今後も継続して取り組む考えです。ひとり親世帯等へは、民生委員・児童委員や担当部署と連携を図りなが

ら必要な支援を行い、状況に応じて保健所などとも情報共有を図っていきます。

「やさしく、わかりやすい窓口設置を」

Q 市民にとって気軽に利用できる、支援・助成・手などを総合的にコーディネートしてくれる、

「やさしく、わかりやすい相談窓口」あるいは相談員の位置づけについて、市としての考えを伺う。

A 地方自治体においては、社会経済情勢の変化などにより多様化した行政ニーズに、一層適切に対応していくことが求められています。総合的な対応が出来る窓口体制の

深川市若年者等雇用拡大奨励金制度：市HP



現在の市民課窓口



おお た こういち 議員
(新政クラブ)

全道身障福祉大会深川開催 緊密な連携を図り準備する

北海道身体障害者福祉協会HP



深川市役所庁舎

Q 主体は『深川身体障害者福祉協会』で、市は『サポート役』としているが、『準備』に関しては逆であり、市が道などの行政機関と連携し進めるべきと考えるが、『準備』の根本的な位置付けを伺う。

A 今大会は、北海道身体障害者福祉協会及び深川市身体障害者福祉協会が主催団体となり、市は深川市社会福祉協議会とともに共催という立場になります。スムーズな準備と、運営上、市が取り組むべき要素が多くあると認識しています。関係機関や過去に開催した自治体等からの情報収集をはじめ、当日に向

けた対応について、道協会及び地元協会と緊密な連携を図りながら準備を進めていきます。

『庁舎整備』に関して問題あり

Q 市議会議員選挙を挟んで『深川市庁舎整備の検討』について、資料の提示・説明があったが、

『議会に対する提示』は、特に『改選後』は軽んじてはならないが、いかがか。

A 改選前の5月27日に全議員に対し資料を提示・説明し、6月4日に市がまとめた「庁舎整備の検討に向けた諸課題について」の資料を送付しました。改選後は、6月19日の新人議員研修会におい

て、同じ資料を提示・説明し、適切な情報提供を心掛けてきたところです。

庁舎整備に関して、今後の議会では「庁舎整備特別委員会」で調査されるものと考えていますが、適時適切に情報提供や説明等に努めていきたいと考えています。



まつもと まさひろ 議員
(令和公明クラブ)

通学カバンの軽量化対策は 区分ごとに実施状況を確認

Q 通学カバン・ランドセルが重く、子供たちの成長に悪影響を与える問題で、市内小中学校の校長先生による校長会において、軽量化について具体的な検討をするとしたが、どのような対策になったのか。

A 校長会では、各学校における学習用具等の持ち帰りに関して慎重に検討し、結果について教育委員会に報告がありました。具体的には、「日常的な対応」「学期始め、学期末等における対応」「その他」の区分ごとに、置いて帰る教材等の統一化や計画的な持ち帰り、保管場所等の確保といったものが今年度の取り組み

みとして示され、教育委員会としても実施状況の確認を行い、さらなる改善方策を学校と協議していきます。

子育て世帯の負担軽減策について

Q 子供たちのインフルエンザ予防接種は、任意接種のため全額自己負担

であり、毎年受ける子育て世帯には負担が大きい。安心して子育てできる環境づくりのため、市による助成の考えを伺う。

A おたふくかぜなど任意の予防接種がある中、インフルエンザのみを助成の対象とすることは、公平性の観点からも難しいものと考えます。

インフルエンザQ&A：国HP



児童の通学風景

また、財政状況を考慮しても、財源的な裏付けのない任意の予防接種に助成範囲を広げる考えは現在のところありません。しかし、情勢が変わるなかで、ほかの自治体等の動向も見きわめながら、弾力的な対応について検討していく余地はあると考えます。



きたむら かおる 議員
北村 薫 (公政クラブ)

市立病院に常勤医師確保を 計画への意見反映に努める

Q 市立病院に産婦人科、小児科、整形外科の常勤医師を置くことが、住みよいまちづくりのために望ましいと思われるが、考えを伺う。

A いずれの診療科も、北空知二次医療圏の中核病院として常勤医師の配置は必須と捉えています。小児科や産婦人科外

来の受診者数は減少しており、他の圏域では産婦人科医の集約化が進んでいることや、関係医育大学の医師数が充足していない背景もあり、常勤医師の確保は容易ではありません。

核病院として、医師確保に向け十分な意見反映に努めていく考えです。

地域ともに生活道としてよい状況ではないことから、市道の整備計画について伺う。

道路事業に取り組んでいます。整備を要する路線が多いことから、早期の対策を図るため、有利な財源の確保とともに、緊急的な補修に適切に対応するなど、日常の維持管理による長寿命化にも配慮し、良好な居住環境の整備に努めていきます。

深川市道路網図：市HP



深川市立病院



たなかまさゆき 議員
田中昌幸 (民主クラブ)

市庁舎議論に若い方の声を 随時受け付け検討していく

Q 10年、20年、30年後の市の将来と、市役所庁舎のあり方を議論する上で、その時の当事者となる係長、主任クラスの職員から、積極的に意見を発信してもらうような取り組みはあるのか伺う。

A 市役所内の「庁内検討委員会」において所管の若手職員等から意見を

伺う機会があると考えています。また、「庁舎整備の検討に向けた諸課題」策定の際は、全職員から意見の募集を行い、今後

には、市民からいただいた意見と同様に、検討を進めていく考えです。

き地バンク」に売却情報の掲載をすることで、入居基準を緩和できないか伺う。

A 公営住宅法の入居要件である「現に住宅に困窮していることが明らかである者」には該当しないことから、入居申し込みを受け付けることは難しいと考えますが、市営

住宅を空き室のままにしておくことは、施設の有効活用という点においても課題と考えており、提言のありました「空き家・空き地バンク」への登録を、売買の意思があるのみならず受け付けできるのかを含め、検討していきたいと考えています。

空き家・空き地バンク：市HP



市営住宅



みやざわたかし 議員
宮澤孝司 (令和公明クラブ)

新ホテルの対応策について 支援方法を前向きに検討

Q 「ラ・カンパーニョホテル深川」がオープンしたが、施設の老朽化により多額の改修費用が必要であったため、引き継ぎには大きな決断が迫られたものと考ええる。既存の助成制度や対応策について伺う。

A 既存の助成制度としては、固定資産税が減免

される「企業立地優遇制度」が適用になると考えています。当該ホテルは、ホテル機能のほか、イベントや会議など公式的な行事でも活用され、本市にとって大事な都市機能の役割を担っている施設であることから、運営及び改修に対する支援について、市としてどのよう

なことができるのか、いろいろな角度から前向きに検討していきたいと考えています。

海道短期大学に協力いただき、情報共有を図りながら取り組む必要があると思うが、市の考えを伺う。

A 外国人労働者の情報共有について、本市では農業分野で検討を進めており、本年2月に「農業分野での外国人材活用検討会議」を立ち上げ、外

農業分野における外国人の受入れについて：国HP



ラ・カンパーニョホテル深川



やまもとときお
山本時雄 議員
(令和公明クラブ)

音江、広里地域の振興は 市の玄関口と認識し進める

第五次深川市総合計画「ふかがわ未来創造プラン」：市HP



第五次深川市総合計画

Q 市の玄関口である高速道路深川インターチェンジから道の駅、深川橋までの音江、広里地域において、新たな観光と道路整備、街路灯の設置など、深川に人を呼び込む開発が必要と思われる。今後の市の考えを伺う。

A 観光面では、道の駅は10周年を迎えた平成26年に施設や駐車場の拡充を行い、昨年4月には「エフパシオ」がオープンしました。また、広里工業団地には新たな企業の進出や、「地域資源活用農産物処理加工施設」を建設しているほか、国に対し国道12号の道路改良や4車線化の要望をしています。本地域は深川

の玄関口と認識しつつ、各種の計画に基づいて、まちづくりを進めていく考えです。

水地があることから、今後、深川市の水として全国に届けてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

A 「湧水の販売」は産業振興策の一つと考えますが、ミネラルウォーターとしての製造は、食品衛生法に基づく製造基準などのルールに沿った取り組みが必要ことや、既に多数の商品が流通し、後発組としての販路確保のほか、本市はシードル事業に注力していることから、課題は多いと受け止めています。

しかし、湧水の活用は、観光資源となる可能性もあることから、対応について研究していきたいと思っています。



きたな てるみ
北名照美 議員
(無会派)※

高齢者バス券の地域購入を 試行的に予約出張販売する

高齢者バス利用料金助成制度：市HP



デ・アイ多目的トイレ

Q バス券を買うのに市役所まで、しかも2階というのは配慮が足りない。生きがい文化センター、鷹泊・更進・音江にある郵便局や、コンビニエンスストアの協力を得て買いたくするべきではないか。

A 市役所や支所以外での乗車券販売は、委託販売の研究や類似の制度を実施する市を調査しましたが、登録者ごとに専用の乗車券を発行するため手続きが複雑なことから、第三者による委託販売は困難であり、引き続き検討課題としていきます。

改善策として、本年度から試行的に、市立病院1階ロビーにおいて、月

1回の予約出張販売を予定しており、準備が整いつつあり、周知を図っていく考えです。

Q 市役所本庁舎に車椅子トイレがなく平然としているのは時代の失格者だ。市庁舎等のバリアフリーの状況と、車椅子使用者が市議会傍聴を求めた場合、また市議会議員になった場合どう対応するのか。

A 総合福祉センターは、1階には車イス用トイレ、スロープ、手すりが設置され、健康福祉センター「デ・アイ」は、1階入り口はバリアフリー、全階に車イス用トイレと手すり、エレベーターが設置されています。市庁舎は、スロープ及び手すりは設置していますが、車イス用トイレはありません。傍聴者等への対応としては、議会事務局と連携しながら適切な対応に努めていく考えです。



ささき かずお
佐々木一夫 議員
(新政クラブ)

道の駅テナント募集問題 適切に事務執行されている

スマート農業：国HP



コンバインでの稲刈り

Q 原則として重複応募は禁止としたいながら、通常応募者がいるのに重複応募を受け付けたのはなぜか。特例の受け付けに理由と目的を明記した伺い文書・決裁を行わなかったのはなぜか伺う。

A テナント募集については、指定管理者である深川振興公社において決

裁が行われており、重複応募を認める趣旨の決裁は通常どおりであり、重複応募を認めて広く申請者を求めることで、道の駅の機能を高めることを主な理由としています。

決裁については、募集要項を作成した上で結果通知を出し、適切に処理が終わっているもので、

重複申請についても、認めるという内容の決裁が上がつており、適切に事務執行がされています。

Q 農林水産省の先駆的先進事業であり、納内地域で計画を進めていたと聞

くが、新十津川町の後

塵を拝した形となった。深川市が事業不採択になった理由を伺う。

A 高齢化・後継者不在などによる農家戸数の減少に伴い、一戸当たりの面積が拡大、労働力不足により、効率的な農業の推進が必要と考えます。このことから、市のほか、農業団体、研究機関等に

よるコンソーシアムを立ち上げ、本プロジェクトにおけるAI等を活用した技術導入による実証内容等を検討し、実証課題提案書を提出しましたが、提案内容の変更もあり、「農業・食品産業技術総合研究機構」による採択には至らなかった状況にあります。

広報編集委員を選任

市議会議員の改選により、広報編集委員を新たに選任しました。

議会だよりは、市議会の活動状況を広く市民に周知し、市議会に対する市民の理解を深めるとともに、市民に開かれた市議会の推進に資することを目的に発行しています。

委員の任期は2年で、今号が新委員の編集による最初の議会だよりになります。



■委員長 小田 雅一
■副委員長 田畑 陽美
■委員 北村 薫 松本 雅祐
佐々木一夫 北名 照美

ー委員長あいさつー

このたび、広報編集委員長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

改選後、初となる第2回定例会を終え、議長を除く13人の全議員が市勢振興に向けて一般質問を行うなど、議員としての意気込みを強く感じるところです。

議会だよりは、議会と市民の皆様をつなぐ大切な広報誌ですので、議会活動の状況等をわかりやすく伝えられるよう、丁寧な編集に心がけてまいります。

広報編集委員長 小田 雅一

※過去の議会だよりは市HPでご覧いただけます。

議会事務局：市HP



一般質問

Q 道の駅の身障者用トイレは、入口から直角にならないと扉に正対できず入りづらい。また、室内も狭く車イスでの利用が困難であることから、改修すべきと考えるがいかがか。

A 平成26年のリニューアル工事の際に、簡易型オストメイト装置を設置するなど、多目的トイレとして利用されていますが、建物の基本的な部分は15年以上前の設計であり、十分な面積を取れなかったものです。新しい道の駅などに設置されている身障者用トイレと比べると、狭く不便と思いますが、大規模な改修工事が必要になることから、

今後、リニューアル工事等を行う際の課題として強く認識してまいります。

Q 広域小麦・大豆調整施設の稼働状況を伺う。

A 本施設は、JAきたそらち管内1市3町の広域施設であり、平成30年の稼働実績としては、小麦は計画処理量6,096トンに対し、3,966トンで利用率65・1%、大豆は計画処理量1,269トンに対し、同数で100%となっています。小麦、大豆ともに、昨年は天候不順等により収穫量が減少し、利用率が低下しましたが、今後も安定生産、安定供給が図られるよう、本施設の有効活用に向けて考えています。



ちかさわひろゆき
近沢弘幸 議員
(公政クラブ)

道の駅身障者トイレ改修を 今後の課題として強く認識

道の駅ライスランドふかがわ：市HP



広域小麦・大豆乾燥調整
貯蔵施設

一般質問

Q JR北海道が運賃の値上げを行うとの報道がなされている。市内と市外の高校に通学する生徒の影響額はそれぞれの程度に及ぶのか。保護者負担の軽減施策を検討すべきと提案する。

A 主な通学圏である旭川、滝川において、市外への通学者は178人と推計され、全員がJRを利用した場合、影響額は約356万円となり、市内への通学者は、平成30年度通学交通費助成の実績による試算では33人で、影響額は約66万円と見込まれます。

市としては、まず「公立高等学校の魅力づくり事業」に集中して取り組むこととしており、市外の高校に通学する生徒も含めた支援については、市内公立高校の状況を見極めることも、高校生の就学支援に関する国の動向なども注視していく考えです。

Q 来年度に開設予定の「公私連携型保育所」における運営内容について、統合される両園の保護者に対し、早期周知に努めるべきである。保護者が施設の運営に参加すべきと考えるが、計画を伺う。

A 保育方針や保育内容等の運営内容については、子ども・子育て審議会後に保護者に説明する場を設け、意見を伺うことを考えています。また、この機会に運営の関係についてもさまざまな意見をお聞きするとともに、保護者会などの機会を通じて意見を聞き、できる限り反映した中で、年内を目処に具体的な検討内容を整理していく考えです。



つじもと さとし
辻本 智 議員
(公政クラブ)

高校生の通学費助成が必要 国の支援の動向を注視する

深川西高校・深川東高校の魅力づくりへの支援：市HP



統合保育園

長年の功績を称え 全国市議会議長会表彰

6月11日に東京で開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より3人の議員が表彰状及び感謝状を受けました。これに伴い、7月4日の本会議に先立ち、太田議員と田中議員に表彰状の贈呈が行われました。また、長野前議長におかれましては、過日、表彰状と感謝状の贈呈が行われました。



左から、太田幸一議員、鶴岡恵司議長、田中昌幸議員

この度、在職15年の表彰にあずかり、ま
ずもって、皆様のご支援とご指導をいた
だきましたことに、心より厚く感謝とお礼を
申し上げます。

振り返りますと平成15年に当選の栄誉を
いただき、この間『住みよい街深川』へ、
微力ながらも奮闘でき得ましたことは、多
くの皆様の支えがあったこと、ご協力があっ
たればこそであります。

引き続き、住民の皆様の要求の窓口とし
て、手足として奮闘していくことを申し上
げ、お礼の言葉といたします。

市議会議員 太田 幸一

・ **長野 勉** 前議長
(議員15年表彰)
(評議員感謝状)

・ **太田 幸一** 議員
(議員15年表彰)

・ **田中 昌幸** 議員(現副議長)
(議員15年表彰)

この度、議員15年表彰を賜り、心より感
謝申し上げます。

平成15年に初当選させていただき、当時
20人だった議員も今回選挙から定数14人に
減少、時代も平成から令和へとかわり、自
治体行政、議会に求められるものはますま
す多様化、複雑化しております。

難しい時代だからこそ、改めて初心に返
り、市民の皆さんが安心して暮らしていけ
るまちづくりのため、議員各位と共に全力
を尽すことをお誓いし、お礼の言葉といた
します。

市議会議員 田中 昌幸

◆ 問合せ先：深川市議会事務局内 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282 (直通)

YouTube 深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会

公式ホームページ

■ イベント参加写真展 ～ふかがわ夏まつり～



市議会も市役所、市民連とともにじゃんけん傘踊りに参
加し、市民の皆さんと一緒に盛り上がりました。